数　量　計　算　書

（　工事数量総括表　）

工事数量総括表

名　　称	種　　別		単位	設計数量	積算数量	摘　要
1. 管路工						
1　開削管路工						
1.1 管路土工						
舗装版切断	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ版15cm以下	m	831	831	
舗装版破砕	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ版10cm以下	m2	914	914	
舗装下掘削(素掘り)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	116	116	
舗装下掘削(土留め)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	325	325	
切土面仕上げ	基面整正		m2	208	208	
基礎工(砂)	砂基礎設置工(機械施工)		m3	48	48	
基礎工(RC-40)	砕石基礎設置工(機械施工)		m3	19	19	
流用土埋戻し(素掘り)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削・タンパ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	18	18	
流用土埋戻し(土留め)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削・タンパ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	139	139	
残土処理	残土処理　運搬距離　L=2.0kn	DT10t,BH0.45m3級積込,BD15t整地	m3	218	218	
残土処理	玉石処理　運搬距離　L=10.0kn	DT10t,BH0.45m3級積込	m3	23	23	
1.2 管渠工						
1.2.1　管布設工	リブ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管設置工	管径150mm、施行規模20m以上、市場単価	m	136.05	136	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	136.05	136	
材料費						
	ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手	管径150mm	個	3	3	
	ﾘﾌﾞ付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管ﾘﾌﾞﾍﾞﾝﾄﾞ	150×10°　×10mR×（12mR）	本	1	1	
1.2.2　圧送管布設工	下水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	管径100mm	m	212.10	212	
埋設物表示シート		ダブル150mm×50m	m	212.10	212	
材料費						
	下水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	管径100mm、片受直管	本	42	42	
	ベンド管	管径100mm、22.5°	個	1	1	
	ベンド管	管径100mm、45°	個	4	4	
	管明示テープ		m	98.49	98	
1.3 マンホール資材						
1号マンホール資材			式	1	1	
1.4 マンホール工						
マンホール設置工	1号ﾏﾝﾎｰﾙ設置工(4箇所以下)	3.0m以下、市場単価	箇所	2	2	
組立式ﾏﾝﾎｰﾙ底部工	1号ﾏﾝﾎｰﾙ		箇所	2	2	
削孔代	削孔代(下水道用)	φ100	箇所	1	1	
1.5 公共ます工						
材料費			式	1	1	
公共ます設置工	塩ビ製公共ます設置工	深さ1.51m以上　蓋有	箇所	1	1	
1.6 取付管工						
取付管布設工及び支管取付工	取付管布設工及び支管取付工	φ150、5箇所以下、5m～12m未満　市場単価	箇所	1	1	
舗装版切断	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ版15cm以下	m	18.60	19	
舗装版破砕	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ版10cm以下	m2	13.60	14	

工事数量総括表

名　　称	種　　別		単位	設計数量	積算数量	摘　要
舗装下掘削(土留め)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	53.40	53	
切土面仕上げ	基面整正		m2	4.81	5	
流用土埋戻し(土留め)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削・タンパ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	42.11	42	
残土処理	残土処理　運搬距離　L=2.0kn	DT10t,BH0.45m3級積込,BD15t整地	m3	6.61	7	
1.7 道路復旧工						
1.7.1　一般市道						
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	226.3	226	
	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m2	226.3	226	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)ﾌﾟﾗｲﾑ	m2	226.3	226	
本復旧	不陸整正工		m2	701.3	701	
	基層工(車道・路肩部)	t=40mm、②再生密粒度AS(13)ﾌﾟﾗｲﾑ	m2	701.3	701	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、⑤再生密粒度AS(13F)タック	m2	786.9	787	
1.7.2　凍上抑制層	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削・タンパ転圧	t=20mm、路盤用　砂、ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	45.3	45	
1.7.3　切削工	ｱｽﾌｧﾙﾄ切削工	t=3cm,W=30cm	m2	85.6	86	
1.7.4　区画線工	溶融式(手動)	実線15cm 制約無 供用区間	m	210.0	210	
	ﾍﾟｲﾝﾄ式(車載式)	実線15cm 制約無 供用区間	m	210.0	210	
1.8 産業廃棄物処理工						
産業廃棄物処理工	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	運搬距離　L=10.5km	m3	56.00	56	
	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊(切削材)	運搬距離　L=10.5km	m3	2.00	2	
2. 仮設工						
2　管路仮設工						
2.1 排水ポンプ運転						
排水ポンプ工	排水ポンプ運転	口径φ50mm、作業時排水	日	15.00	15	
	排水ポンプ設置撤去		現場	1	1	
	釜場設置撤去	釜場掘削・設置	箇所	6	6	
本管土留め工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=2.50m以下、支保工2段	m	138.00	138	
	軽量鋼矢板賃料		t	8.780	8.78	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
取付管土留め工	軽量鋼矢板建込工(設置・撤去)	掘削深H=3.00m以下、支保工2段	m	19.40	19	
	軽量鋼矢板賃料		t	6.247	6.25	
	軽量金属支保工	賃料、修理及び損耗費	式	1.00	1	
交通管理工	交通誘導	交通誘導員Ｂ	人	54.00	54	
3　間接工事費						
3.1　共通仮設費						
3.1.1　運搬費						
仮設材運搬工	軽量鋼矢板土留材運搬工		t	8.89	8.89	
3.1.2　準備費						
試験掘工	一般市道		箇所	2	2	

工事数量総括表

名　　称	種　　別		単位	設計数量	積算数量	摘　要
舗装版切断	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ版15cm以下	m	5.0	5	
舗装版破砕	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ版10cm以下	m2	1.4	1	
舗装下掘削(素掘り)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	2.0	2	
流用土埋戻し(素掘り)	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削・タンパ転圧	ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	0.9	0.9	
凍上抑制層	ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削・タンパ転圧	t=20mm、路盤用　砂、ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3	m3	0.3	0.3	
残土処理	残土処理　運搬距離　L=2.0kn	DT10t,BH0.45m3級積込,BD15t整地	m3	1.0	1	
仮復旧	下層路盤工(歩道部)	t=450mm、RC-40	m2	1.4	1	
	上層路盤工(歩道部)	t=190mm、C-20	m2	1.4	1	
	表層工(車道・路肩部)	t=30mm、②再生密粒度AS(13)ﾌﾟﾗｲﾑ	m2	1.4	1	
3.1.3　技術管理費	本管用TVｶﾒﾗ調査工	φ150～250mm	m	136.1	136	
	取付管用TVｶﾒﾗ調査工	φ100～150mm	箇所	1	1	
	気密試験工		m	212.95	213	
	土質等試験	締め固めた土のコーン指数試験	試料	1	1	
3.1.4　役務費	臨時電力設備		箇所	3	3	

管路施設第2号工事

管　路　土　工　総　括　表

工種		規格		単位	数量	備考
舗装版切断		t＝ 15 cmまで		m	831	(舗装版切断調書より)　831.00
		t＝ 30 cmまで		〃		
掘削	舗装版	t＝ 10 cmまで		m^2	914	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理一覧表より)　As 913.90
		t＝ 15 cmまで		〃		
	舗装下	BH 0.45m^3級　(素掘)		m^3	116	(管路数量計算書より) 115.92
		BH 0.45m^3級　(土留め)		m^3	325	(管路数量計算書より) 324.96
		大型ブレイカー　(土留め)		〃		
人力切土面仕上		人力		m^2	208	(面仕上計算書より) 207.60
基礎工	管床部及び管側頂部	搬入土(砂)	BH 0.45m^3級(素掘)	m^3	25	(管路数量計算書より) 25.02
			BH 0.45m^3級(土留め)	〃	23	(管路数量計算書より) 22.5
		搬入土(RC-40)	BH 0.45m^3級(素掘)	m^3		
			BH 0.45m^3級(土留め)	〃	19	(管路数量計算書より) 19.32
		流用土	BH 0.45m^3級(素掘)	〃		
			BH 0.45m^3級(土留め)	〃		
埋戻管上部埋戻部	搬入土	BH 0.45m^3級　(素掘)		〃		
		BH 0.45m^3級　(土留め)		〃		
	流用土	BH 0.45m^3級　(素掘)		〃	18	(管路数量計算書より) 18.07
		BH 0.45m^3級　(土留め)		〃	139	(管路数量計算書より) 139.08
産廃処理	舗装(As塊)	BH 0.45m^3級	10tダンプ	〃	56	(舗装版取壊し・積込み・産業廃棄物処理、取付管土工集計表より) 55.1 + 0.67 =55.77
	舗装(Co塊)	BH 0.45m^3級	10tダンプ	〃		
	切削(As)	人力	2tダンプ	〃	2	(本線切削調書より) 2.48
残土処理	舗装下	BH 0.45m^3級	10tダンプ	〃	218	(管路数量計算書より) 241.26 − 23.09 =218.17 (岩石分差引)
		BH 0.80m^3級	10tダンプ	〃	23	岩石処分　230.91 × 10% =23.09 (路盤以外の掘削土量×10%)

平成30年度 弥生地区管路施設第2号工事

舗 装 版 切 断 調 書

道路区分名	切断深	延 長	カッター回数	切 断 延 長	備 考
一般市道	7	75.00	3	225.00	
一般市道	7	202.00	3	606.00	
～20cmまで		277.00		831.00 ≒ 831	
総 合 計		277.00			

平成30年度　弥生地区管路施設第2号工事

舗装版取り壊し、積み込み　産業廃棄物処理一覧表

路線名	舗装厚 m	道路名	復旧タイプ	区　間	幅 m	延　長 m	面　積 m2	産廃量 m3
支線11	0.03	一般市道	仮復旧 AS部	M92 ～ M91	1.00	75.00	75.00	2.25
支線12	0.03	一般市道	仮復旧 AS部	M91 ～ M90	0.60	139.00	83.40	2.50
支線12	0.03	一般市道	仮復旧 AS部	M90 ～ M89	1.00	63.00	63.00	1.89
小　計							221.40	6.64
支線11	0.07	一般市道	本復旧 AS部	M92 ～ M91	2.50	75.00	187.50	13.12
支線12	0.07	一般市道	本復旧 AS部	M91 ～ M90	2.50	139.00	347.50	24.32
支線12	0.07	一般市道	本復旧 AS部	M90 ～ M89	2.50	63.00	157.50	11.02
小　計							692.50	48.46
合　計							913.90	55.10
t＝10cm以下							913.90	

平成30年度　弥生地区管路施設第2号工事

面　仕　上　計　算　書

路線名	区　　間	掘削幅 m	部材厚 m	仕上幅 m	延　長 m	面　積 m²	掘削深(H) m
支線11	M92 ～ M91	1.00	0.10	0.90	75.00	67.50	2.01
支線12	M91 ～ M90	0.60		0.60	139.00	83.40	1.42
支線12	M90 ～ M89	1.00	0.10	0.90	63.00	56.70	2.45
1．5m以下(素掘)						83.40	
1．5m＜H≦3．8m						124.20	
合　計						207.60	

平成30年度　弥生地区管路施設第2号工事

管　路　数　量　計　算　書

路線名	マンホール No.	単距 (管距)	地盤高	管底高	土被り	掘削深 (管体迄)	平均掘削深	掘削深	道路 管種	掘削土量 仮復旧時 上層 下層 凍抑層	掘削土量 本復旧時 上層影響 上・下層 凍抑層	掘削土量 路盤以外	掘削土量 掘削土量計	残土	埋戻し 流用土 埋戻 管上 計	埋戻し 搬入土 埋戻 管上 計	埋戻し 流用土 管側頂 管床 計	埋戻し 搬入土 管側頂 管床 計	土留工	機種 掘削幅
支線11	M92	75.00	112.86	111.429	1.27	1.44	1.91	2.01	一般市道	11.25		85.50	172.50	91.66	42.75		15.00	3.00	軽量鋼矢板(3)	0.45m3級
										33.75	3.00				7.50		7.50	7.50		
	M91	(73.95)	116.78	114.393	2.22	2.39			リブ管150	39.00					50.25		22.50	10.50	2.30	1.00
路線計		75.00								11.25		85.50	172.50	91.66	42.75		15.00	3.00		
										33.75	3.00				7.50		7.50	7.50		
		(73.95)								39.00					50.25		22.50	10.50		
支線12	M91	139.00	116.78	115.467	1.20	1.32	1.32	1.42	一般市道	12.51		45.87	115.92	95.84	1.39		16.68		OPEN	0.45m3級
										37.53	3.33				16.68		8.34			
	M90	(138.10)	123.99	122.677	1.20	1.32			ポリ管100圧送	16.68					18.07		25.02			0.60
支線12	M90	63.00	123.99	121.212	2.61	2.78	2.35	2.45	一般市道	9.45		99.54	152.46	53.76	76.23			2.52	軽量鋼矢板(4)	0.45m3級
										28.35	2.52				12.60			6.30		
	M89	(62.10)	122.96	121.050	1.75	1.92			リブ管150	12.60					88.83			8.82	2.50	1.00
路線計		202.00								21.96		145.41	268.38	149.60	77.62		16.68	2.52		
										65.88	5.85				29.28		8.34	6.30		
		(200.20)								29.28					106.90		25.02	8.82		
合　計		277.00								33.21		230.91	440.88	241.26	120.37		31.68	5.52		
										99.63	8.85				36.78		15.84	13.80		
		(274.15)								68.28					157.15		47.52	19.32		
H≦1.5		139.00								12.51		45.87	115.92	95.84	1.39		16.68			
										37.53	3.33				16.68		8.34			
0.45m3級		(138.10)								16.68					18.07		25.02			
1.5＜H≦3.8		138.00								20.70		185.04	324.96	145.42	118.98		15.00	5.52		
										62.10	5.52				20.10		7.50	13.80		
0.45m3級		(136.05)								51.60					139.08		22.50	19.32		
3.8＜H≦4.0																				
0.45m3級		( )																		
4.0＜H≦6.0																				
0.80m3級		( )																		
上層路盤影響幅分																				
0.45m3級																				
機種別		277.00								33.21		230.91	440.88	241.26	120.37		31.68	5.52		
										99.63	8.85				36.78		15.84	13.80		
0.45m3級		(274.15)								68.28					157.15		47.52	19.32		
機種別																				
0.80m3級		( )																		

リ ブ 管 管 渠 延 長 内 訳 表

管路施設第2号工事

管 径 (mm)	区間延長 (m)	管渠延長 (m)	可とう継手 下流 個数(個)	可とう継手 上流 個数(個)	リブ直管延長 (m)	リブRB管 1.045m×12mR(5°) 箇所数	リブRB管 1.045m×12mR(5°) 延長(m)	リブRB管 2.095m×12mR(10°) 箇所数	リブRB管 2.095m×12mR(10°) 延長(m)	リブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°) 箇所数	リブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°) 延長(m)	マンホール延長 (m)	埋設表示シート延長 (m)
φ150	138.000	136.050	2	1	133.955			1	2.095			1.950	136.050
φ200													
φ250													
計	138.000	136.050	2	1	133.955			1	2.095			1.950	136.050

リ ブ 管 管 渠 調 査 延 長 内 訳 表

管 径 (mm)	RB管区間管渠延長 (m)	直線区間管渠延長 (m)		計 (m)	備 考
φ150	2.095	133.955		136.050	
φ200					
φ250					
計	2.095	133.955		136.050	(カメラ調査延長 L= 136.050 m)

リ ブ 管 管 渠 延 長 内 訳 表（φ150mm）

管路施設第2号工事

路線番号	区　　間	区間延長	管渠延長（φ150mm）	可とう継手 下流（φ150mm）	可とう継手 上流（φ150mm）	φ150mm リブ直管延長	φ150mmリブRB管 1.045m×12mR(5°)		φ150mmリブRB管 2.095m×12mR(10°)		φ150mmリブRB管 2.160m×5.5mR(22.5°)		RB管(1)		RB管(2)		RB管(3)		RB管(4)	
		(m)	(m)	個数(個)	個数(個)	(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	中心測点	角度 θ	中心測点	角度 θ	中心測点	角度 θ	中心測点	角度 θ
支線 － 11	M 92 ～ M 91	75.000	73.950	1		71.855			1	2.095			＋ 30	10						
支線 － 12	M 90 ～ M 89	63.000	62.100	1	1	62.100														
計		138.000	136.050	2	1	133.955			1	2.095										

弥生地区

圧　送　管　調　書

管路施設第2号工事

路線名	測　　点	管路延長	管渠延長	タイプ	圧送口径 (mm)	継手等 端末継手 個数	端末継手 延長	中間継手 個数	中間継手 延長	可とう管 個数	可とう管 延長	ベンド管 個数	ベンド管 延長	橋梁添架 個数	橋梁添架 延長	SUS管等	小計	直管延長	埋設ｼｰﾄ	管明示テープ	波付硬質合成樹脂管 50mm(延長×3本)
支線11	M 92　～　M 91	75.00	74.40	下水用	100	1	0.2			1	0.35	2	1.24			0.30	2.09	72.31	73.55	34.05	12.0
支線12	M 91　～　M 90	139.00	138.55	下水用	100							3	1.73				1.73	136.82	138.55	64.44	
計		214.00	212.95			1	0.20			1	0.35	5	2.97			0.30	3.82	209.13	212.10	98.49	12.0

管渠延長　L = 212.95 − 0.2 − 0.35 − 0.3　= 212.1 m

直管本数　N = 209.13 ÷ 5.0 m/本　= 41.826 ≒ 42 本

圧　送　管　調　書（ベンド管）

路線名	測　　点	管路延長	管渠延長	タイプ	圧送口径 (mm)	ベンド管 11−1/4度 個数	11−1/4度 延長	22-1/2度 個数	22-1/2度 延長	45度 個数	45度 延長	90度 個数	90度 延長	中間継手 個数	中間継手 延長	計 個数	計 延長	備考
支線11	M 92　～　M 91	75.00	74.40	下水用	100					2	1.24					2	1.24	
支線12	M 91　～　M 90	139.00	138.55	下水用	100			1	0.49	2	1.24					3	1.73	
		214.00	212.95					1	0.49	4	2.48					5	2.97	

平成30年度　弥生地区管路施設第2号工事

マンホール歩掛集計表

区分		箇所数			
1号	～3．00m	2			
	3．01m～4．00m				
	4．01m～5．00m				
2号	～2．00m				
	2．01m～3．00m				
	3．01m～4．00m				
	4．01m～5．00m				
	5．01m～6．00m				
計		2			

平成30年度 弥生地区管路施設第2号工事

マ ン ホ ー ル 数 量 計 算 書

路線名	マンホールNo.	マンホール深	適用マンホール高	斜壁			直壁						く体					底版	調整リング			蓋	調整金具		蓋荷重	区分
				0.30	0.45	0.60	0.30	0.60	0.90	1.20	1.50	1.80	0.60	0.90	1.20	1.50	1.80	0.13	0.05	0.10	0.15	0.11	0.045	0.025		
支線11	M91	2.39	2.56			1											1	1	1			1			T-14	1号
路 線 計						1											1	1	1			1				
総 合 計(1号)						1											1	1	1			1				
1号・T-14				1		1																				
耐食性(抗菌)																										
支線12	M90	2.78	2.94	1				1									1	1		1		1	1		T-14	1号
路 線 計				1				1									1	1		1		1	1			
総 合 計(1号)				1				1									1	1		1		1	1			
1号・T-14				1																						

平成30年度　弥生地区管路施設第2号工事

流　入　バ　ッ　フ　ル　取　付　工

路線名	マンホール番号	圧送径	バッフル長 m	流入バッフル長						備考
				500mm以下	1000mm以下	1500mm以下	2000mm以下	2500mm以下	3000mm以下	
支線12	M90	PEφ100	1.57				1.57			H=((122.677-121.212)+0.10+0.3)-0.3
計	1箇所									

汚水桝・取付管集計表(全体)

弥生地区管路施設第2号工事

汚水桝総箇所数　1 箇所

取付管総延長　19.40 m

汚水桝集計

※1.5m以下　市場単価
※1.5m超　積上げ

基礎砂

1箇所 × 0.03 ＝ 0.03

0.03 m³

内積上げ分
0.03 m³

汚水桝設置労務

	箇所数
H≦1.0	
H≦1.5	
H>1.5	1

市場単価計上分
箇所
内積上げ分
1 箇所

汚水桝部材数量

名称	蓋名	蓋区分	保護蓋	蓋厚さ	数量	立上り管 VU200mm
縦型	ﾐｶｹﾞ蓋	宅内	無し	0.23		
	t-8 蓋	一般	有り	0.34		
	t-25蓋	大型	有り	0.34		
横型	ﾐｶｹﾞ蓋	宅内	無し	0.23		
	t-8 蓋	一般	有り	0.34	1	2.47
	t-25蓋	大型	有り	0.34		

保護蓋数量(材料費：積上げ、労務費市場単価)

大型車用　箇所
一般車用　箇所

VU200mm本数 (4m/本)

2.47m ÷ 4.0m ＝ 0.6

0.6 本

内積上げ分
0.6 本

取付管集計

※市場単価

平均延長　19.40 m

曲管数量

曲管種別	部材長	数量	延長
15° 自在	0.2		
30°	0.2		
45°	0.2		
90° ﾍﾞﾝﾄﾞ	0.9		
30° 自在	0.2		
60° 自在	0.2		
計			

直管　φ150 4.0m/本

19.40m － 0.00m ＝ 19.40

19.40 m

19.40m / 4m ＝4.8本

5.0 本

支管数量

支管種別	数量
150*100	
200*100	
250*100	
300*100	
350*100	
400*100	

汚　水　桝　・　取　付　管　調　書

弥生地区管路施設第2号工事

路線名	宅地番号	測点	汚水桝					取付管										備考
			取付管管径 (mm)	汚水桝深 (m	桝種別	蓋種別	立上り管	本管径	取付管延長	直管	曲管						支管種別	
											15° F	30°	45°	90° B	30° F	60° F		
支線-11	62	M91+直結	150	2.70	横型	t-8 蓋	2.36	150	19.4	19.4								

支線11号

取　付　管　土　工　集　計　表

舗装区分：As

復旧名	舗装盤切断延長：m					開削面積：m²							復旧面積：m²								産廃処理量	道路部延長 m	宅地部延長 m
		舗装盤カッター規格別				仮復旧			本復旧				仮復旧			本復旧							
		t=10cm	t=15cm	t=20cm	t=25cm	舗装	上層	下層	表層	基層	上層	下層	舗装 1.4m未満 / 3.0m以下 / 6.0m以下	上層	下層	表層 1.4m未満 / 3.0m以下 / 6.0m以下	基層 1.4m未満 / 3.0m以下 / 6.0m以下	上層	下層	切削面積	m³	素掘 / 土留 / 合計	素掘 / 土留 / 合計
一般市道	18.60	18.60				4.85	4.85	4.85	8.75	8.75			4.85	4.85	4.85	8.75	8.75			2.46	0.674	5.40 5.40	14.00 14.00
合計	18.60	18.60				4.85	4.85	4.85	8.75	8.75			4.85	4.85	4.85	8.75	8.75			2.46	0.67	5.40 5.40	14.00 14.00

※復旧面積のアスファルト舗装部は、開削幅により歩掛が異なるため、歩掛毎に集計を分けている。

取　付　管　土　工

弥生地区

路線名：支線-11

復旧区分：一般市道[As]

宅地番号	測点	本線掘削幅/2	舗装区分	延長	仮復旧時				本復旧時							産廃処理量	備考
					開削幅	取壊面積	復旧面積	舗装盤切断	開削幅	取壊面積		復旧面積		切削面積（舗装）	舗装盤切断		
				道路部	舗装	舗装	舗装		舗装	舗装	路盤	舗装	路盤				
				宅地部	上層	上層	上層	本数	上層	表層	上層	表層	上層		本数		
				計	下層	下層	下層	延長	下層	基層	下層	基層	下層		延長		
				5.40	0.990	4.85	4.85		1.990								
62	M91+直結	0.50	As	14.00	0.990	4.85	4.85	2		8.75		8.75		2.46	2	0.674	半面反対側
				19.40	0.990	4.85	4.85	9.80		8.75		8.75			8.80		
				5.40		4.85	4.85										
				14.00		4.85	4.85			8.75		8.75		2.46		0.674	
				19.40		4.85	4.85	9.80		8.75		8.75			8.80		

管路施設第2号工事

取　付　管　土　工　総　括　表

工種		規格			数量							合計	備考
舗装版切断		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 t=10cm 以下			別途計算書より計上							18.60 m	
取壊・積込み		ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 t=10cm 以下										13.60 m^2	
掘削	機械掘削	BH 0.45m^3級	(素掘)									m^3	
			(土留め)		14.59	38.81						53.40 〃	
切土面仕上		人力				4.81						4.81 m^2	
基礎工	管床部及び管側頂部	搬入土(砂)	BH 0.45m^3級	(素掘)								m^3	
				(土留め)	1.83	4.75						6.58 〃	
												〃	
埋戻工	埋戻管上部埋戻し	流用土	BH 0.45m^3級	(素掘)								〃	
				(土留め)	1.07	2.77	7.30	30.97				42.11 〃	
												〃	
		搬入土(砂)	BH 0.45m^3級	(素掘)	凍上抑制層(道路復旧にて計上)							〃	
				(土留め)								〃	
産廃処理	舗装(As塊)	BH 0.45m^3級	10tダンプ		別途計算書より計上							〃	
	舗装(Co塊)	BH 0.45m^3級	10tダンプ									〃	
	切削(As)	人力	2tダンプ									〃	
残土処理	舗装下	BH 0.45m^3級	10tダンプ			5.29		1.32				6.61 〃	

管路施設第2号工事

取　付　管　土　工　集　計　表

工種		規格			単位	数量							合計	備考
道路区分						一般市道(土留め)								
延長		道路部			m	5.40							5.40	
		宅地部			〃	14.00							14.00	
舗装版切断					〃	別途計算書より計上								
取壊・積込み					m^2									
掘削	機械掘削	BH 0.45m^3級	(素掘)		m^3									道路部
			(土留め)		〃	14.59							14.59	道路部
	機械掘削(影響幅)	BH 0.45m^3級	(素掘)		〃									道路部
	機械掘削(宅地分)	BH 0.45m^3級	(素掘)		〃									宅地部
			(土留め)		〃	38.81							38.81	宅地部
切土面仕上		人力	(素掘)		m^2									道路部
			(土留め)		〃	4.81							4.81	道路部
基礎工	管床部及び管側頂部	搬入土(砂)	BH 0.45m^3級	(素掘)	m^3									道路部
				(土留め)	〃	1.83							1.83	道路部
				(素掘)	〃									宅地部
				(土留め)	〃	4.75							4.75	宅地部
埋戻工	埋戻管上部	流用土	BH 0.45m^3級	(素掘)	〃									道路部
				(土留め)	〃	1.07							1.07	道路部
				(素掘)	〃									宅地部
				(土留め)	〃	2.77							2.77	宅地部
埋戻し		搬入土(砂)	BH 0.45m^3級	(素掘)	〃	凍上抑制層(道路復旧にて計上)								道路部
				(土留め)	〃									道路部
		流用土	BH 0.45m^3級	(素掘)	〃									道路部
				(土留め)	〃	7.30							7.30	道路部
				(素掘)	〃									宅地部
				(土留め)	〃	30.97							30.97	宅地部
産廃処理	舗装(As塊)	BH 0.45m^3級	10tダンプ		〃	別途計算書より計上								
	舗装(Co塊)	BH 0.45m^3級	10tダンプ		〃									
	切削(As)	人力	2tダンプ		〃									
残土処理	舗装下	BH 0.45m^3級	10tダンプ	(素掘)	〃									道路部
		BH 0.45m^3級	10tダンプ	(土留め)	〃	5.29							5.29	道路部
		BH 0.45m^3級	10tダンプ	(素掘)	〃									宅地部
		BH 0.45m^3級	10tダンプ	(土留め)	〃	1.32							1.32	宅地部

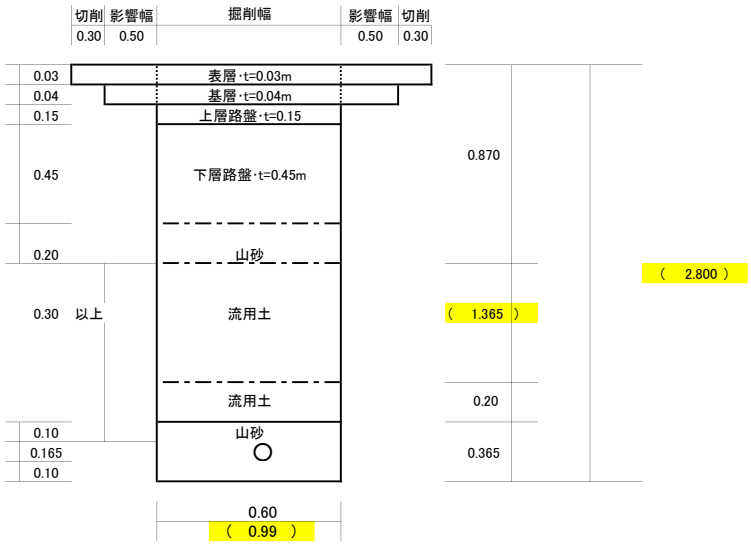
管路施設第2号工事

取付管土工(一般市道)数量計算書

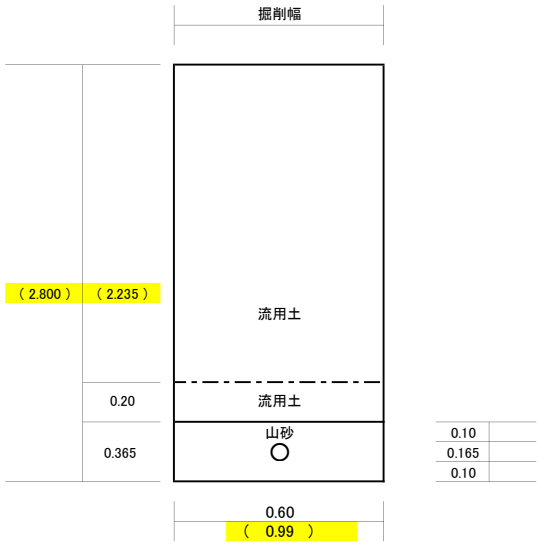
	桝深合計		箇所数		平均深
(素堀)		÷		=	
(土留)	2.70	÷	1	=	2.70

※( )は土留の場合
※平均掘削深＝平均汚水桝深＋0.1(砂基礎厚)

(道路部)



(宅地部)



1 m 当り算出

工　種	素　堀	土　留
舗装版切断 取壊・積込み		別途計算書より計上
機械掘削 (BH・0.45m^{3}級)		(2.800 − 0.07) × 0.99 = 2.702 m^3
機械掘削(影響幅) (BH・0.45m^{3}級)		
切土面仕上げ		1.00 × 0.89 = 0.890 m^2
BH・0.45m^{3}級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.365 − {(3.14 × 0.165 × 0.165) ÷ 4 } = 0.339 m^3
BH・0.45m^{3}級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m^3
BH・0.45m^{3}級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 1.365 = 1.351 m^3
BH・0.45m^{3}級投入(山砂) 埋戻し		凍上抑制層(道路復旧にて計上)
BH・0.45m^{3}級投入 残土処理		2.702 − (0.198 + 1.351) ÷ 0.9 = 0.98 m^3
BH・0.45m^{3}級投入 残土処理		

1 m 当り算出

工　種	素　堀	土　留
機械掘削 (BH・0.45m3級)		0.99 × 2.80 = 2.772 m^3
BH・0.45m3級投入 基礎砂・管床側頂部		0.99 × 0.365 − {(3.14 × 0.165 × 0.165) ÷ 4 } = 0.339 m^3
BH・0.45m3級投入(流用) 埋戻し管上部		0.99 × 0.20 = 0.198 m^3
BH・0.45m3級投入(流用) 埋戻し		0.99 × 2.235 = 2.212 m^3
残土処理		2.772 − (0.198 + 2.212) ÷ 0.9 = 0.094 m^3

軽 量 鋼 矢 板 建 込 工 賃 料 日 数 計 算 書

掘削範囲 (m)	延　長 (m)	建込日数(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 日/100m（日）	引抜日数(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 日/100m（日）	軽金支保工設置日数 人/100m（日）	軽金支保工撤去日数 人/100m（日）	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力
1.51～1.80	L1					W1 0.215	2.0	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3級
1.81～2.00	L2	t1 1.798	t1’ 0.893	b1 1.00	b1’ 0.70			Q＝ 99.0 m3/日
2.01～2.30	L3					W2 0.268	2.5	掘削土量全体
2.31～2.50	L4	t2 2.012	t2 0.964					C＝ 53.40 m3
2.51～2.80	L5 19.40			b2 1.80	b2’ 1.10	W3 0.322	3.0	埋戻部全体数量
2.81～3.00	L6	t3 2.179	t3 1.060					
3.01～3.30	L7					W4 0.376	3.5	D5= 48.69 m3
3.31～3.50	L8	t4 2.405	t4 1.155					
3.51～3.80	L9	t5 2.500	t5’ 1.250	b3 2.80	b3’ 1.70	W5 0.430	4.0	
	ΣL 19.40							

1. 掘削及び土留工(a1)

① 掘削日数＝掘削土量(C)／バックホウ作業能力(Q)＝ 53.40 ／ 99.0 ＝ 0.539 ≒ 0.54 日

② 矢板建込日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4、L5＋L6、L7＋L8、L9)×設置日数(t1、t2、t3、t4、t5)

＝((＋)× 0.01798)＋((＋)× 0.02012)＋((19.40 ＋)× 0.02179)

＋((＋)× 0.02405)＋(× 0.02500)＝ 0.422 ≒ 0.42 日

③ 支保工設置日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4＋L5＋L6＋L7＋L8、L9)×設置日数(b1、b2、b3)

＝((＋)× 0.01000)＋((＋ ＋ 19.40 ＋ ＋ ＋)× 0.01800)

＋(× 0.02800)＝ 0.349 ≒ 0.35 日

④ 切崩し・床均し日数＝掘削土量(C)×切崩し・床均し労務(人／m3)(K)／3人＝ 53.400 × 0.040 ／ 3人 ＝ 0.712 ≒ 0.71 日

a1＝ ① ＋ ② ＋ ③ ＝ 0.54 ＋ 0.42 ＋ 0.35 ＋ 0.71 ＝ 2.02 日

2. 埋戻日数(a4)＝埋戻部全体数量(D5)÷33. 0m3／日＝ 48.69 ÷ 33. 0 ＝ 1.475 ≒ 1.48 日

3. 土留引抜日数(a5)

① 矢板引抜日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4、L5＋L6、L7＋L8、L9)×引抜日数(t1’、t2’、t3’、t4’、t5’)

＝((＋)× 0.00893)＋((＋)× 0.00964)＋((19.40 ＋)× 0.01060)

＋((＋)× 0.01155)＋(× 0.01250)＝ 0.205 ≒ 0.21 日

② 支保工撤去日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4＋L5＋L6＋L7＋L8、L9)×撤去労務(b1’、b2’、b3’)

＝((＋)× 0.00700)＋((＋ ＋ 19.40 ＋ ＋ ＋)× 0.01100)

＋(× 0.01700)＝ 0.213 ≒ 0.21 日

a5＝ ① ＋ ② ＝ 0.21 ＋ 0.21 ＝ 0.42 日

4. 実供用日数(a0)＝a1 ＋ (a4あるいはa5で値の大きい方)＝ 2.02 ＋ 1.48 ＝ 3.50 日 （※ a4の値を採用）

5. 供用日数(a)＝ a0 × 30 ／ 20 ＝ 3.50 ×30／20＝ 5.25 ≒ 6 日

6. 使用回数(N)＝ 総延長(L)／30m＝ 19.40 ／30＝ 1.00 ≒ 1 回

7. 使用重量(W)＝延長(L1、L2＋L3、L4＋L5、L6、L7＋L8)×設置重量(W1、W2、W3、W4、W5)

＝(× 0.215)＋((＋)× 0.268)＋((＋ 19.40)× 0.322)

＋((＋)× 0.376)＋((＋)× 0.430)＝ 6.2468 ≒ 6.247

8. 1セット当り重量＝使用重量(W)×30m／総延長(L)＝ 6.247 ×30／ 30.00 ＝ 6.2470 ≒ 6.247

※切崩し・床均し労務(人／m3) (K) = 0.04 (ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3級)

管路施設第2号工事

軽 量 鋼 矢 板 建 込 工 賃 料 日 数 計 算 書

掘削範囲 (m)	延　長 (m)	建込日数(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 日/100m（日）	引抜日数(ﾊﾞｯｸﾎｳ) 日/100m（日）	軽金支保工設置日数 人/100m（日）	軽金支保工撤去日数 人/100m（日）	延長1m当り矢板重量 t/m (t)	矢板長 (m)	集計値・能力
1.51～1.80	L1 0.00					W1 0.215	2.0	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.45m3級
1.81～2.00	L2 0.00	t1 1.798	t1’ 0.893	b1 1.00	b1’ 0.70			Q＝ 99.0 m3/日
2.01～2.30	L3 75.00					W2 0.268	2.5	掘削土量全体
2.31～2.50	L4 63.00	t2 2.012	t2 0.964					C＝ 268.38 m3
2.51～2.80	L5 0.00			b2 1.80	b2’ 1.10	W3 0.322	3.0	埋戻部全体数量
2.81～3.00	L6 0.00	t3 2.179	t3 1.060					
3.01～3.30	L7 0.00					W4 0.376	3.5	D5= 180.90 m3
3.31～3.50	L8 0.00	t4 2.405	t4 1.155					仕上げ面積
3.51～3.80	L9 0.00	t5 2.500	t5’ 1.250	b3 2.80	b3’ 1.70	W5 0.430	4.0	A1= 207.60 ㎡
	ΣL 138.00							

1. 掘削及び土留工(a1)

① 掘削日数＝掘削土量(C)／バックホウ作業能力(Q)＝ 268.38 ／ 99.0 ＝ 2.710 ≒ 2.71 日

② 矢板建込日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4、L5＋L6、L7＋L8、L9)×設置日数(t1、t2、t3、t4、t5)
＝((0.00 ＋ 0.00)× 0.01798)＋((75.00 ＋ 63.00)× 0.02012)＋((0.00 ＋ 0.00)× 0.02179)
＋((0.00 ＋ 0.00)× 0.02405)＋(0.00 × 0.02500)＝ 2.776 ≒ 2.78 日

③ 支保工設置日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4＋L5＋L6＋L7＋L8、L9)×設置日数(b1、b2、b3)
＝((0.00 ＋ 0.00)× 0.01000)＋((75.00 ＋ 63.00 ＋ 0.00 ＋ 0.00 ＋ 0.00 ＋ 0.00)× 0.01800)
＋(0.00 × 0.02800)＝ 2.484 ≒ 2.48 日

④ 切崩し・床均し日数＝掘削土量(C)×切崩し・床均し労務(人／m3)(K)／3人＝ 268.380 × 0.040 ／ 3人 ＝ 3.578 ≒ 3.58 日

a1＝ ① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④ ＝ 2.71 ＋ 2.78 ＋ 2.48 ＋ 3.58 ＝ 11.55 日

2. 埋戻日数(a4)＝埋戻部全体数量(D5)÷33.0m3／日＝ 180.90 ÷ 33.0 ＝ 5.481 ≒ 5.48 日

3. 土留引抜日数(a5)

① 矢板引抜日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4、L5＋L6、L7＋L8、L9)×引抜日数(t1’、t2’、t3’、t4’、t5’)
＝((0.00 ＋ 0.00)× 0.00893)＋((75.00 ＋ 63.00)× 0.00964)＋((0.00 ＋ 0.00)× 0.01060)
＋((0.00 ＋ 0.00)× 0.01155)＋(0.00 × 0.01250)＝ 1.330 ≒ 1.33 日

② 支保工撤去日数＝延長(L1＋L2、L3＋L4＋L5＋L6＋L7＋L8、L9)×撤去労務(b1’、b2’、b3’)
＝((0.00 ＋ 0.00)× 0.00700)＋((75.00 ＋ 63.00 ＋ 0.00 ＋ 0.00 ＋ 0.00 ＋ 0.00)× 0.01100)
＋(0.00 × 0.01700)＝ 1.518 ≒ 1.52 日

a5＝ ① ＋ ② ＝ 1.33 ＋ 1.52 ＝ 2.85 日

4. 実供用日数(a0)＝a1 ＋ (a4あるいはa5で値の大きい方)＝ 11.55 ＋ 5.48 ＝ 17.03 日 （※ a4の値を採用）

5. 供用日数(a)＝ a0 × 30 ／ 20 ＝ 17.03 ×30／20＝ 25.54 ≒ 26 日

6. 使用回数(N)＝ 総延長(L)／30m＝ 138.00 ／30＝ 4.60 ≒ 5 回

7. 使用重量(W)＝延長(L1、L2＋L3、L4＋L5、L6、L7＋L8)×設置重量(W1、W2、W3、W4、W5)
＝(0.00 × 0.215)＋((0.00 ＋ 75.00)× 0.268)＋((63.00 ＋ 0.00)× 0.322)
＋((0.00 ＋ 0.00)× 0.376)＋((0.00 ＋ 0.00)× 0.430)＝ 40.3860 ≒ 40.386

8. 1セット当り重量＝使用重量(W)×30m／総延長(L)＝ 40.386 ×30／ 138.00 ＝ 8.7795 ≒ 8.780

※切崩し・床均し労務(人／m3) (K) = 0.04 (ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3級)

平成30年度　弥生地区管路施設第2号工事

舗 装 復 旧 面 積 調 書

道路区分名	仮　復　旧				本　復　旧					延 長
	AS部	上層	下層	凍抑層	AS部	仮As部	上層影響	上・下層	凍抑層	
一般市道・軽量鋼矢板	75.00	75.00	75.00	75.00	187.50					75.00
一般市道 計	75.00	75.00	75.00	75.00	187.50					75.00
一般市道・素掘	83.40	83.40	83.40	83.40	347.50					139.00
一般市道・軽量鋼矢板	63.00	63.00	63.00	63.00	157.50					63.00
一般市道 計	146.40	146.40	146.40	146.40	505.00					202.00
総 合 計	221.40	221.40	221.40	221.40	692.50					277.00

道　路　復　旧　面　積　集　計　表

管路施設第2号工事

名称	構成別	舗装工 1.4m未満	舗装工 1.4m～3.0m以下	舗装工 3.0mを超～6.0m以下	舗装工 計	上層路盤工(t=150) 2.5m未満	下層路盤工(t=450) 2.5m未満	凍上抑制層 (m^2) 2.5m未満	切削工
一般市道	本管	221.4			221.4	221.4	221.4	221.4	
(仮復旧)	取付管	4.9			4.9	4.9	4.9	4.9	
(t=3cm)	計	226.3			226.3	226.3	226.3	226.3	
一般市道	本管		692.5		775.6				83.1
(本復旧)	取付管		8.8		11.3				2.5
(t=7cm)	計		701.3		786.9				85.6

名称	構成別	舗装工 1.4m未満	舗装工 1.4m～3.0m以下	舗装工 3.0mを超～6.0m以下	舗装工 計	上層路盤工(t=190) 2.5m未満	下層路盤工(t=450) 2.5m未満	凍上抑制層 (m^2) 2.5m未満	切削工
	本管								
	取付管								
	計								
	本管								
	取付管								
	計								

名称	構成別	舗装工 1.4m未満	舗装工 1.4m～3.0m以下	舗装工 3.0mを超～6.0m以下	舗装工 計	上層路盤工(t=120) 2.5m未満	下層路盤工(t=300) 2.5m未満	凍上抑制層 (m^2) 2.5m未満	切削工
	本管								
	取付管								
	計								
	本管								
	取付管								
	計								

名称	構成別	舗装工 1.4m未満	舗装工 1.4m～3.0m以下	舗装工 3.0mを超～6.0m以下	舗装工 計	上層路盤工 2.5m未満	下層路盤工 2.5m未満	凍上抑制層 (m^2) 2.5m未満	切削工
	本管								
	取付管								
	計								

名称	構成別	舗装工 1.4m未満	舗装工 1.4m～3.0m以下	舗装工 3.0mを超～6.0m以下	舗装工 計	上層路盤工 2.5m未満	下層路盤工 2.5m未満	凍上抑制層 (m^2) 2.5m未満	切削工
	本管								
	取付管								
	計								

合計	A＝	786.9	㎡	凍上抑制工(山砂V=	45.3	m^3)

区画線				外側・中央線 本線(左)	本線(右)	取付(左)	取付(右)	文字 (白・実線・15cm)
	外側線	L＝	210.0 m		210.0			
	中央線	L＝	210.0 m	本線(中央) 210.0				

本　線　切　削　調　書

管路施設第2号工事

路　線　名	区　　間	舗装厚 m	幅 m	延長 m	面積 m^2	産廃量 m^3	備　　考
支線11号	M　92　～ M　91	0.03	0.30	75.00	22.50	0.67	一般市道
支線12号	M　91　～ M　89	0.03	0.30	202.00	60.60	1.81	一般市道
計				277.00	83.10	2.48	一般市道
合　計				277.00	83.10	2.48	

共 通 仮 設 費 内 訳

管路施設第2号工事

工　　種	規　　格	計　　算　　式	数　　量
運搬費	軽量鋼矢板	1セット(30m)当り重量　本管　40.386　×30／　138	
		取付管　6.247　×30／　19.4	
		46.633　×30／　157.4　=　8.890　t	8.89　t
準備工	試験掘工	一般市道　2　箇所	2　箇所
役務費	臨時電力設備	277.0　m　÷　100　m/箇所　≒　3.0　箇所	3　箇所
技術管理費	カメラ調査	本管用　136.05　m	136.1　m
		取付管用　1　箇所	1　箇所
	土質試験工	1　箇所	1　箇所
	気密試験工	圧送管調書より　212.95　m	213.0　m

管路施設第2号工事

水替日数・ポンプ／釜場設置撤去 計算書

		本管	取付管	合計
全体延長	L	277.00	19.40	296.40
管床部全体数量	D1(砕石基礎)	19.32		
	(砂基礎)	47.52		
管側頂部全体数量	D2	0	6.58	
管上部全体数量	D3	36.78	0	
埋戻部全体数量	D4	120.37	42.11	
埋戻部合計	D5＝D2＋D3＋D4	157.15	48.69	205.84

1. 基礎工(a1)
管床部全体数量・敷均し転圧日数＝D1÷97.0m3／日　　砕石基礎
＝D1÷33.0m3／日　　砂基礎

19.32	÷	97.0	＝	0.199	≒	0.20 日
47.52	÷	33.0	＝	1.440	≒	1.44 日
				計		1.64 日

2. 管布設日数(a2)
(人力施工)　管布設日数 ＝ 管距延長 × 布設歩掛 ／ 2人
(機械施工)　管布設日数 ＝ 管距延長 × 布設歩掛

人力施工	リブ管150	136.05	×	0.038	／2＝	2.584	≒	2.58 日
人力施工	ポリ管100	212.95	×	0.032	／2＝	3.407	≒	3.41 日
人力施工	VU管150	19.40	×	0.018	／2＝	0.174	≒	0.17 日
						人 力		6.16 日
						機 械		0.00 日
						計		6.16 日

3. 埋戻日数(a3)
埋戻部全体数量・敷均し転圧日数＝D5÷33.0m3／日

205.84	÷	33.0	＝	6.237	≒	6.24 日

4. 水替日数(a0)

a0 ＝ a1 ＋ a2 ＋ a3 ＝　14.0　≒　15 日

5. ポンプ及び釜場設置撤去
全体延長(L) ／ 50

277.00	／	50	＝	5.54	≒	6 箇所

6. 1箇所当り水替日数
水替日数 ／ 箇所数

15	／	6	＝	2.5	≒	3 日／箇所

交通管理工計算書

1. 土留材供用日数(a1)

本管	17.03 日
取付管	3.5 日
計	20.53 日

2. 附帯工日数計算書(a2)

工　　種	規　　格	単位	数　　量					合　計	日当施工量	日　数
上層路盤工	歩道施工 1層(15cmまで)	㎡							268	
	歩道施工 2層(30cmまで)	㎡	226.3					226.3	268	1.69
下層路盤工	歩道施工 2層(40cmまで)	㎡							268	
	歩道施工 3層(60cmまで)	㎡	226.3					226.3	268	2.53
仮舗装工(人力施工)	歩道 幅1.4m未満 t=25mm以上～35mm未満	㎡	226.3					226.3	250	0.91
舗装版切断工	As　t=15cm以下	m							240	
	Co　t=15cm以下	m							150	
舗装版破砕工	t=10cm以下	㎡							810	
機械掘削	土砂、小規模、標準	m3							37	
不陸整正		㎡	701.3					701.3	1,580	0.44
舗装工(機械施工)	車道 幅1.4m以上 t=25mm以上～70mm未満	㎡	701.3	786.9				1488.2	2,300	0.65
	歩道 幅1.4m以上 t=25mm以上～70mm未満	㎡							1,000	
路面切削工	帯状切削 平均h=3cm以下	㎡	85.6					85.6	1,800	0.05
区画線工	溶剤・水性ﾍﾟｲﾝﾄ式、自走 実線(加熱・常温)15cm	m	210.0					210.0	8,200	0.03
	溶融式、手動 実線15cm	m	210.0					210.0	1,500	0.14
合　　計										6.44

3. 日数(a0)

a0 ＝ a1 ＋ a2 ＝　27 日

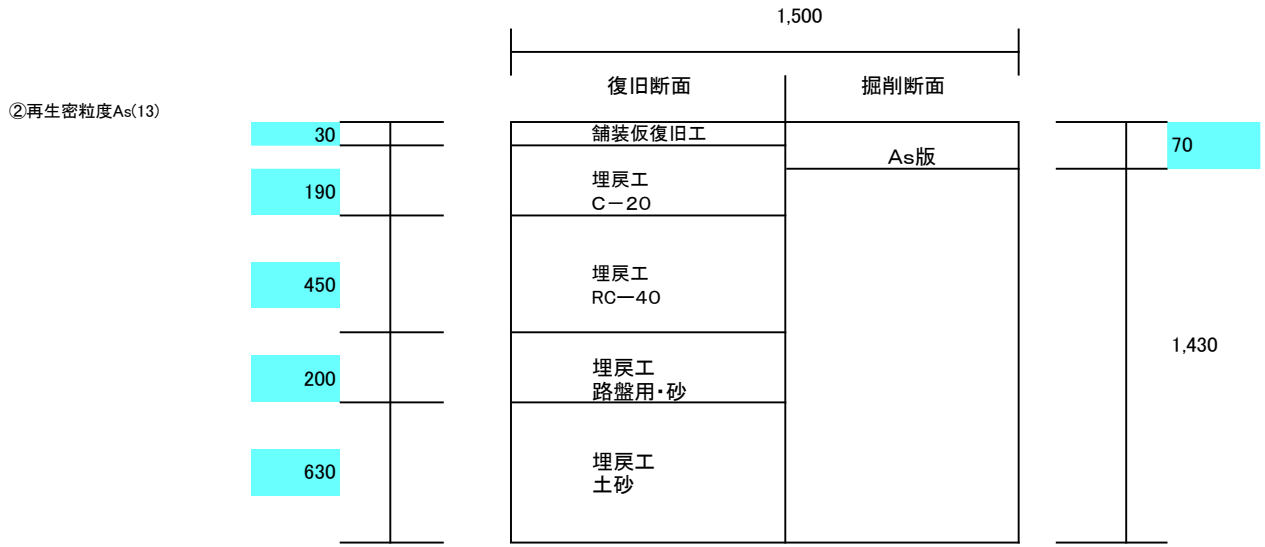
交通誘導員	誘導員B	27	×	2	人	≒	54.0	人

試 験 掘 工

一般市道

幅	W＝	0.91
延長	L＝	1.50
深	H＝	1.50

略 図
No scale



（1箇所当たり）

舗装切断工	L＝	(	0.9	×	2	＋	1.5	×	2	)	×	1	＝	5.0	m
舗装盤破砕工	A＝	0.91	×	1.50	×	1							＝	1.4	m²
掘削・積込	V＝	0.91	×	1.50	×	1.43	×	1					＝	2.0	m³
埋戻工（土砂）	V＝	0.91	×	1.50	×	0.63	×	1					＝	0.9	m³
埋戻工（路盤用砂）	V＝	0.91	×	1.50	×	0.20	×	1					＝	0.3	m³
残土処理	V＝	2.0	－	(	0.9	÷	0.9	)	×	1			＝	1.0	m³
AS殻運搬・処分	V＝	0.91	×	1.50	×	0.07	×	1					＝	0.1	m³
上層路盤工(C-20)	A＝	0.91	×	1.50	×	1							＝	1.4	m²
下層路盤工(RC-40)	A＝	0.91	×	1.50	×	1							＝	1.4	m²
舗装仮復旧 （再生密粒度As(13)t＝3cm Pｺｰﾄ）	A＝	舗装盤破砕工に同じ											＝	1.4	m²